

藤沢市 令和2年度事務事業評価シート(令和元年度分)

No. 1

事務事業名	江の島地区周辺整備事業費										担当課	部課名	計画建築部江の島地区周辺整備担当 (現:道路河川部道路整備課)			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	010	説明	01	課等の長	佐藤 繁	電話	4430

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	片瀬・江の島の玄関口として利用されている片瀬江ノ島駅が、玄関口としてふさわしい空間となるよう、交通広場の新設など交通結節機能の強化を行い公共交通利用の促進、周辺の回遊性向上・生活利便性の向上及び観光の振興を図る。						
事業目的および必要性	片瀬江ノ島駅が、片瀬・江の島の玄関口としてふさわしい空間となるよう、片瀬江ノ島駅周辺に交通結節機能としての交通空間機能と、人々の交流などのための環境空間機能を持つ駅前広場を整備する。また、東京2020オリンピックセーリング競技開催時には多くの来訪者が想定されることから、片瀬江ノ島駅駅前広場をおもてなしの空間となるよう、整備する必要がある。						
対象	1. 個人	市民				433,060	人
根拠法令等	法律等 道路法, 道路交通法, 土地収用法, 藤沢市都市マスタープラン等						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先:) (委託等内容:)						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: 小田急江ノ島線鶴沼海岸10号踏切道改良工事に伴う調査設計業務に関する協定に基づく負担金)						
	<input type="checkbox"/> その他 ()						
藤沢市市政運営の総合指針2020							
重点施策名				指針体系コード		その他の計画との関連	
『2020年』に向けてまちの魅力を創出する				2-2-81			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
駅をはじめとする拠点の整備について			2.91 点	2.94 点	2.98 点	2.98 点	
			点	点	点	点	

令和元年度 支出済額	事業費節別内訳			
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容	
	公有財産購入費	392,766 千円	片瀬江ノ島駅駅前広場整備事業用地購入費	
	工事請負費	24,827 千円	片瀬江ノ島駅前通り線の交通空間整備工事	
	負担金補助及び交付金	11,529 千円	小田急江ノ島線鶴沼海岸10号踏切道改良工事に伴う調査設計業務に関する協定に基づく負担金	
431,733 千円	使用料及び賃借料	1,610 千円	土地賃借料(片瀬江ノ島駅駅前広場整備事業用地)2件	
	その他	1,001 千円	旅費及び需用費	
【参考】 令和2年度 予算額	事業費節別内訳			
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容	
	負担金補助及び交付金	41,968 千円	小田急江ノ島線鶴沼海岸10号踏切道改良工事に関する協定書に基づく負担金	
	工事請負費	26,000 千円	片瀬江ノ島駅前通り線の交通空間整備工事	
	72,048 千円	使用料及び賃借料	1,932 千円	土地賃借料(片瀬江ノ島駅駅前広場整備事業用地)2件
	需用費	1,598 千円	消耗品等の購入等	
	その他	550 千円	報償費及び旅費	

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
正規職員等	4.00	4.00	4.00	4.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	4.00	4.00	4.00	4.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

令和元年度 事業実施 内容	片瀬江ノ島駅前広場の整備(土地の取得, 建物の移転補償, 工事等)を実施した。						
	指標名	単位	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	備考
成果目標	片瀬江ノ島駅前広場周辺整備事業 進捗率	%	0.59	2.32	3.54	28.43	進捗率は平成28年度～ 令和3年度の予定事業 費計に対する年度内の 予定事業費の割合
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	備考
	住民説明会等	回	0	3	2	0	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	片瀬江ノ島駅前広場周辺整備事業 進捗率	%	0.56	1.18	0.92	24.83	成果実績は平成28年度～ 令和3年度の予定事業 費計に対する年度内の 予定事業費の割合
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト	行政費用(フルコスト) A	61,735	58,125	54,089	470,643			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	48,250	59,130	54,520	470,608			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	9,668	20,463	15,975	431,733			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	38,582	38,667	38,545	38,875			
	①職員給与合計(常勤)	36,404	36,876	36,668	36,564			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	2,178	1,791	1,877	2,311			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	13,485	-1,005	-431	35			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	13,485	-1,005	-431	35			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他(市債)	0	0	0	0			
	行政収益(事業収入) B	3,040	6,102	0	324,600			
	(3)現金を伴う収入 (千円)	3,040	6,102	0	324,600			
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0				
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0				
③国庫支出金	0	0	0	0				
④県支出金	3,040	6,102	0	0				
⑤その他(市債)	0	0	0	324,600				
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0				
収入未済増減額	0	0	0	0				
収支差額(純費用) A-B E	58,695	52,023	54,089	146,043				
分析指標	項目	片瀬江ノ島駅前広場周辺整備 事業進捗率 F	0.56	1.18	0.92	24.83		
			単位 %	単位 %	単位 %	単位 %		
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	110,241,071.43	49,258,474.58	58,792,391.30	18,954,611.36			
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	138.07	425,105	121.69	427,501	125.99	429,317	337.24
受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00				

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	地域から既存駅前広場の車道廃止は、生活道路としての利便性が低下する等の意見や「車道廃止の中止」を求める要望書が多く署名とともに提出された。このことから、車道を廃止した上での広場整備については、地域住民の賛同を得ることが難しい状況となった。
(2) (1)解決のための令和元年度の取組	地域住民からの車道を残してほしいという要望を踏まえて、地域住民と既存駅前広場の環境空間についての意見交換等を行った。
(3) 令和元年度末時点の課題	既存の駅前広場については、歩行者の安全性を優先し、通過交通を止めることで周辺環境の安全性も高まることから、車道廃止の考えは変えていないが、地域住民から車道を残してほしいという要望が多いため、整備には地域住民の理解を得ていく必要がある。
(4) (3)解決のための今後の取組	地域住民と意見交換等を行いながら、引き続き「駅前広場のあり方」、「車道のあり方」を検討していく。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの <input type="radio"/> オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの <input type="radio"/> エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	ア=恒久的に実施するもの <input type="radio"/> イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和元年度支出済額	<input type="radio"/> ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 <input type="radio"/> エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
4. 施設等整備	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	片瀬江ノ島駅前通り線及び駅前広場は、昭和32年に都市計画決定し現在に至るが、片瀬・江の島の玄関口としてふさわしい交通空間機能や、人々の交流等のための環境空間機能を有していない。 近年の片瀬・江の島周辺は、年間を通じて多くの観光客が来訪している。また、2021年には東京2020オリンピック競技大会のセーリング会場に江の島が選定されたことから、今後更に多くの来訪者が想定される。	
他市等の事例	なし	
市民ニーズ	把握方法	住民説明会を5回実施した。 片瀬江ノ島駅周辺の交通量調査を実施した。 署名とともに要望書を受理した。(2018年10月23日付け「小田急片瀬江ノ島駅前広場の車道廃止の中止を求める要望書」)
	把握内容	片瀬江ノ島駅前広場の車道廃止は、周辺道路の安全性や利便性の低下などから実施するべきでない。 車道廃止による周辺道路への影響は小さいと想定される。 車道廃止の中止を求める要望書と多くの署名が提出された。
	対応等	地域住民との合意形成なしに事業を進めることは困難であることから、引き続き地域住民との丁寧な意見交換等を続けながら、合意形成を図っていく。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	片瀬江ノ島駅前広場の整備に向けて、事業用地を取得し東京2020大会までの暫定整備に着手することができた。	
今後の方針	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
	事業の方向性	現状維持
	駅前広場の暫定整備を早期に完成させるとともに、円滑に供用開始できるよう関係機関との調整を進める。 今後は、地域住民と既存駅前広場の車道の在り方等の意見交換を行いながら、片瀬・江の島の玄関口としてふさわしい空間となるよう、片瀬江ノ島駅周辺に交通結節点としての交通空間機能と人々の交流などのための環境空間機能を持つ駅前広場の将来計画について検討を進めていく。 また、片瀬江ノ島駅周辺の他事業(すばな通りの電線類地中化等)と連携した周辺の環境整備の検討も行っていく。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	江の島地区周辺の基盤整備に関すること	無	無		3
2	駅前広場整備等に係る設計に関すること	無	無	1	3
3	駅前広場整備等に係る施工に関すること	無	無	3	3
4	用地取得に関すること(公社先行)	無	無	3	1
5	踏切道の改良に係る調査設計業務に関すること	無	無		2
6	踏切道の改良に係る工事に関すること	無	無	3	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020.8.21
----	-------	----	-------	-----	-----------